

# 香美市初代市長に 門脇 槇夫氏



香美市の初代市長選挙は、四月二日に告示され、旧土佐山田町長の門脇槇夫氏が無投票で当選しました。



退任した職務執行者の野島さんに花束が贈られました

門脇市長は、四月十日に、職員らが出迎えるなか、香美市役所に初登庁しました。午後からの市長就任式では、約六十人の職員を前に門脇市長が「合併に対する住民の不安を最小限に抑えるためにも、自覚と責任をもち、親切でいねいな対応を心がけてほしい。新しい香美市のために一緒に頑張っていきましょう」とあいさつし決意を呼びかけました。



職員を前に就任のあいさつをする門脇市長

また、初代市長が決まるまでの間、職務執行者を務めた野島民雄さんが「香美市民の期待にこたえられるよう、協力して市の基礎をつくっていただきたい」と退任のあいさつをし、門脇市長と職員にエールを送りました。

市長就任式・職務執行者退任式

## 就任のごあいさつ

香美市長 門脇 槇夫



謹んで市長就任のごあいさつを申し上げます。

このたびの市町村合併に伴う市長選挙におきまして、思いがけなく無投票という結果をもって市長に就任することになりましたが、このことは合併後の新市が融和のもとにスタートするようにとの思いの中で、市民の皆様方の特別な温かいご配慮によるものと心から感謝する次第であります。

市長という重い席に着かせていただきましたが、今日の地方行政運営の厳しい状況を考えたとき、その責任の重さを痛感しており、市民の皆様方の今後とものご指導とご鞭撻<sup>べんたつ</sup>の程をよろしくお願いいたします。

さて私は、合併による旧土佐山田町長失職後、ただちに市長選に対するあいさつをさせていただくため、市内全域を訪問させていただきました。特になじみの薄かった香北町、物部町に多くの時間をかけて地域を歩き、そして住民の皆様さんたちと対話する機会を持たせていただきました。ときには仕事でお忙しい時間帯にもかかわらずご出席くださり、申し訳ないと感じながらも、おかげで多くの人にお会いすることができました。そしてそこで共通して聞かされた言葉は、「合併して周辺部が取り残されはしないか、山間部が切り捨てられはしないか」という心配の声でした。「年老いて先々のことが心配だが、ここから出て行くつもりもないので、よろしく頼みます」と、祈るような言葉を聞いて返答に窮したときもありました。厳しい環境の中にあっても生まれ育ったその土地に愛着を持つことは山間地に住む私には痛いほどわかります。少しでも不安を解消できるような政策を心がけねばならないと強く認識した次第であります。

しかし、地方自治体を取り巻く現実はまだことに厳しいものがあります。特に縮減の一途をたどっている行財政の中で、いかに住民の満足度の向上を図ってゆくか、今後の大きな課題であります。最小の経費で最大の効果を上げるためにも、行政の簡素化・効率化を進め、情報公開と説明責任を果たし、住民参加による公平で公正な、また心の通じ合う行政運営をめざしてまいりますので、よろしくお願いいたします。